

対応方針（2025プラン）の変更（岩国医療センター）

病床機能報告における病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容				備考 （対応方針の実施予定時期等）	
機能区分	R4 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能区分	現行		変更後
高度急性期	266	266	<p>・救急医療は、本圏域及び隣接する柳井圏域において、当院が唯一の三次救急病院であり、県外の広島県大竹市、島根県西部の患者も積極的に受け入れている。また本圏域における二次救急医療は当院が主体となっており、地域における当院の救急医療は不可欠である。</p> <p>・高度急性期・急性期医療は、循環器系、呼吸器系、消化器系、周産期、小児、損傷等、血液内科、救急科等、全32診療科体制で幅広い医療機能を担っている。</p> <p>・がんについては、拠点病院として手術・化学療法・放射線治療を積極的に実施している。</p>	<p>・三次・二次救急医療は、更なる充実を図るとともに、本圏域及び隣接する柳井圏域を中心に、引続き積極的に展開する。</p> <p>・近隣主要病院が医師不足により、急性期医療を担うことが困難なため、当院は高度急性期・急性期医療を更に充実させる。</p> <p>・がん医療については、拠点病院として手術・化学療法・放射線治療の更なる充実を図る。</p> <p>・当院と後方支援病院との役割分担を明確化すると共に、地域連携の充実を加速させ、早期退院促進と平均在院日数の短縮を図る。</p> <p>・歯科サポート連携を強化し、術後の早期退院、誤嚥性肺炎の防止、動脈硬化の予防・軽減に積極的に取り組む。</p> <p>・将来の医療需要を見据えると同時に、医師・看護師等の限られた医療資源を最大限効率的に活用するため、令和4年11月に休棟中であった病床の再開・運用について見直したところであるが、さらに、ICUとして運用中の高度急性期病床12床について2床削減し、10床で運用を行う。なお、現状の運用に併せて削減を行うものであり、自院の担う役割に変更はなく、地域の医療提供体制への影響はない。</p>	高度急性期	268	266	令和6年2月 実施予定
急性期	194	194			急性期	194	194	
回復期					回復期			
慢性期	24	24			慢性期	24	24	
休棟	46				休棟			
合計	530	484			合計	486	484	